

安心安全の
町づくり

阿品台 防災の砦

廿日市消防署西分署

廿日市消防署西分署は平成2年12月に現在地に10名の職員で開署スタートしました。その後、増改築を行い早や20年を迎えました。現在は阿品台市民センターと一体化し、敷地面積1,289㎡、延べ面積1,553㎡、鉄筋コンクリート造2階建てで、1階部分が車庫及び倉庫、2階部分は事務室、仮眠室及び食堂となっています。

現在、保有する消防車両は水槽付消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車2台計3台で、分署長以下21名の職員が24時間体制で地域住民の安心・安全のため、昼夜を問わず頑張っています。

組織体制及び職員紹介

分署長 玉田 進(消防司令)

第1小隊

消防第1係長 清水 弘文(消防司令補)
 第1分隊長 下唐湊 利徳、白竹 仁志(消防士長)
 副分隊長 久保田 彰(消防副士長)
 隊員 有附 伸隆、河野 雄仁、(消防士)
 藤田 尚伸(消防士)
 救急分隊長 合田 浩(消防士長、救急救命士)
 分隊長 山西 大介(消防士長、救急救命士)
 副分隊長 秋山 祐輝(消防副士長、救急救命士)

第2小隊

消防第2係長 安栖 孝一(消防司令補)
 第2分隊長 難波 宏光、松田 大輔(消防士長)
 副分隊長 市原 陽介(消防士長)
 一色 智行、田福 伸行(消防副士長)
 隊員 新家 仁志(消防士)
 救急分隊長 三戸 敏男(消防士長、救急救命士)
 分隊長 安田 圭男(消防士長、救急救命士)
 副分隊長 古井 直樹(消防士長、救急救命士)

出動件数

当分署が管轄する区域は、火災は市内全域を管轄しています。救急は阿品台地区はもとより東西に阿品から明石方面、南北に深江から四季が丘方面までをカバーしています。

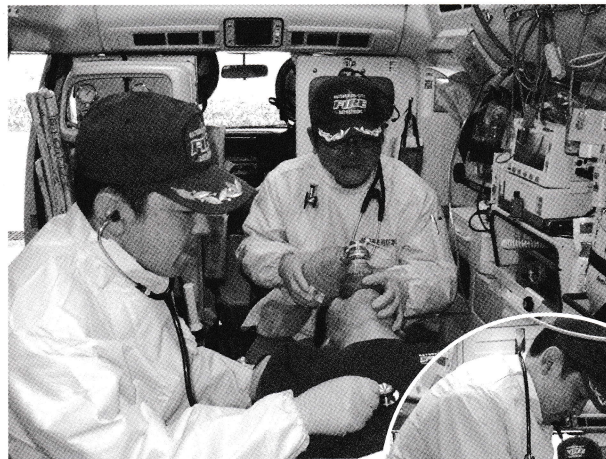
昨年中は火災出動が15件(廿日市市全体27件)、救急出動が1,253件(廿日市市全体4,861件)ありました。

職員の日常訓練

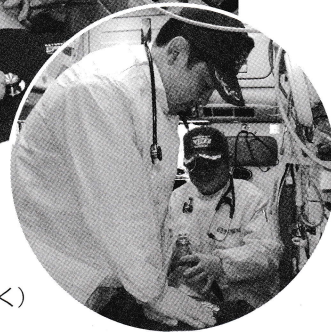
職員はいつ、どこで、どのような災害が発生しても、迅速的確に対応できるように、日々、厳しい訓練をおこなっています。



消防訓練



救急訓練



(4ページに続く)

阿品台敬老会

9月18日(月) 日本赤十字広島看護大学



町連部

「阿品台コミュニティ」に今年度から新しく加わった「町連部(旧阿品台連合町内会)」は、町内会組織を活用して各部のイベントに協力することを目的にした部です。納涼盆踊り大会では、各町内会から述べ158名のスタッフを動員し、ヤグラの組立、テント張り、花火打ち上げ周辺の警備等また、翌日の後片付けに汗を流しました。敬老会では、従来民生委員が行っていた出欠調査及び、欠席者の記念品配布を各町内会で行いました。

6月27日「トライアスロン大会」では、各町内会から28名のボランティアが、コース沿道の交通整理などにあたりました。

青少年部

あいさつ運動

毎週水曜日 地域ボランティアの方延べ20名が、市民センター横・1丁目・5丁目・中央陸橋・山の手で登校時あいさつをする。

子ども調理教室

7月26日(月)阿品台東小学校・阿品台市民センター
84名参加



とんど

1月9日(日) 阿品台2丁目公園 60名参加

第31回阿品台納涼盆踊り大会

8月7日(土) 阿品台東小学校グラウンド



公衛部

公衛部(旧阿品台公衆衛生協議会)では、公衆衛生委員約10名で、大会翌日、打ち上げ花火の後始末に参加。夏の夜空を飾る花火は、しばし暑さを忘れさせてくれました。夜空で分裂、分解した花火の紙片は、グラウンド一面に飛散していました。早朝6時より約1時間の清掃活動で元のきれいなグラウンドになりました。

体育部

第4回ミニテニス大会

10月24日(日) 阿品台中学校体育館

優勝：アリス 2位：少女時代 3位：マッハ

夜回り 青少年部共催

11月13日(土) 子ども47名・大人52名参加

協力 阿品台地区消防団・地域安全協議会

4つの周回コースに分かれ、「火の用心」の声掛けをしました。

阿品台ウォーキング

11月28日(日)



婦人部

型染めふきん作り

7月26日(月) 阿品台市民センター 15名参加
講師 なかよしクラブのみなさん

「世界の料理」シリーズ (エスニック) タイ料理

7月28日(水) 阿品台市民センター 11名参加
講師 ポルナパ レヴィ アルヴァレスさん

「世界の料理」シリーズ ブルガリア料理

9月16日(木) 阿品台市民センター 20名参加
講師 ガラボヴァ リュボフさん

タイ・ブルガリア
それぞれの国の紹介。
ガイドブックや特
産品などを展示し、
特色のある食文化
勉強。



しめ飾り作り

12月27日(月) 阿品台市民センター 19名参加

国際理解講座 オマーン料理

11月18日(木) 阿品台市民センター
講師 渡辺 美智子さん

子ども創作(わんぱく)教室

「ミルクで楽しむ 親子クッキング」

2月19日(土) 阿品台市民センター 20名参加
講師 森永乳業(株) 栄養士

親子・お孫さんとのコミュニケーションを計りながら、
乳製品を使い、簡単にできる「肉まん」作りに挑戦。

福祉部

春季グラウンドゴルフ大会

5月15日(土) 阿品台東小学校グラウンド

秋季グラウンドゴルフ大会

10月11日(土) 阿品台東小学校グラウンド
75名参加 優勝 黒田 甫さん



ふれあい昼食会

10月28日(木)
もみのき森林公園
44名参加



文化部

婦人部共催

母の日カーネーションコンサート

5月9日(日) 阿品台市民センター 60名参加
出演 藤咲 真介さん ホルン・オカリナ
梶上 幸子さん ピアノ
友情出演 コーラスやまぼうし



サマーコンサート

エリザベト音楽大学修士課程留学生トリオ

7月25日(日) 阿品台市民センター 70名参加
出演 宋 周媚(ソン ジュナン)さん フルート
鄭 有娜(ジョン ユナ)さん チェロ
河 珉慧(ハ ミンヘ)さん ピアノ



日帰り研修旅行

11月8日(月) 90名参加
関谷学校(歴史資料館)→後楽園→倉敷



クリスマスコンサート

12月18日(土) 阿品台市民センター 80名参加
出演 谷川 智宏さん サックス・フォーン
岡 てるみさん ピアノ

今回で6回目を向かえるコンサート。

ワインを傾け、
手作りの料理を
頂きながら、す
ばらしい演奏に、
束の間のセレブ
気分。



訓練指導等

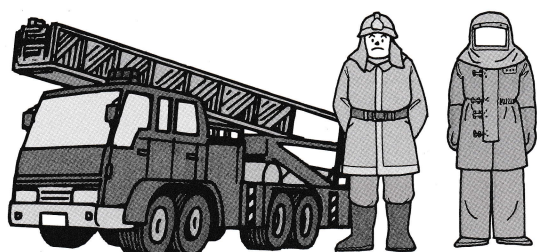
市内の小、中学校や高等学校、事業所及び各種団体からの要請により、救命講習(普通救命講習、一般救急講習)やAED(自動対外式除細動器)の取扱い説明を実施しています。昨年は32件、759人の方が受講されました。

また、事業所へ出向し、消防訓練(通報、避難、消火)の指導を行っています。昨年は40回、3,508人の方の指導を行いました。



自主防災訓練等

各地区のコミュニティのご依頼により、自主防災訓練の指導を行っています。天ぷら油火災の消火実験、煙ハウスによる煙体験、水消火器による消火訓練やバケツリレー等を地域に出向いて指導しています。



予防査察等

市内の事業所や共同住宅等に立入検査へ出向します。昨年は228事業所へ出向し、消防用設備等が適正に維持・管理されているかなど、火災予防上の指導を行いました。

また、火災が発生しやすい時季の春と秋には、一般住宅の防火診断を実施しています。昨年は、一人で暮らされている、ご高齢の方々の住宅を訪問させていただき、住宅用火災警報器設置の説明や火災予防思想の普及に努めました。

阿品台コミュニティとのつながり

このような業務を日々行う中で、住民の方が今不安なこと、問題になっていることなどが明確に見えてくることがあります。例えば「どういう時に、救急車を呼んだらいいのか悩む」、「救急車にどう電話していいのか分からず怖い」、「夜間どこの病院を受診したらいいのかわからない」、「消火器は使った事がないし、使い方がわからない」又は「住宅用火災警報器はどこに、いつまでに設置したらいいのか? わからない」など、これらの声のひとつひとつが住民の皆さまが肌で感じていることであり、共通する問題だと実感しています。

また、逆に救命講習を受講して「子どもを守るためには、何に一番気を付けたら良いか? 理解でき安心した」などの感想を聞き、訓練指導の手ごたえを感じることもあります。小さな積み重ねを大切にしながら、これからも地域住民の方々とコミュニティとして、お気軽に声をかけていただきたいと思います。

分署長のモットー

火災・救急は、常に日常の中に存在し、いつ・それが直面するかわかりません。そのため、そのときの住民の方のとっさの判断と対応が、『命のかぎ』を握っているといっても過言ではありません。私たちは、その判断や対応を出来るだけ正確、迅速に行えるように、わかりやすく、皆さまに訓練や指導を行って行きたいと思います。

また、住民の皆さまも自分自身や身の周りの方々の、命や財産を守るのは、自分自身だという意識を持ち、地域の防災活動や講習会に積極的に参加してくださることを期待しています。

最後に、地域のコミュニティと私たちの連携をこれからも強固にし、命を守る砦として皆さまに認められるように職員一同、努力していきます。

(分・写真=清水弘文消防第一係長)